

会議録

会議名	平成 27 年度 第 2 回 山陽小野田市国民健康保険運営協議会
開催日時	平成 28 年 2 月 18 日 (木) 15 時 10 分～16 時 40 分
開催場所	保健センター 2 階 集団指導室
出席委員	雨宮 宏枝 小川 学 河東繁太郎 城戸 信之 酒井 和枝 末富みどり 長澤 英明 平田 武 藤原 哲 古谷 義彦 山田 文隆 吉武 和夫 (計 12 名)
欠席委員	加藤 政明 高松真智子 (計 2 名)
事務担当課 及び事務局出席者	健康福祉部 部長 河合 久雄 部次長 岩本 良治 国保年金課 課長 亀田 政徳 主幹 安重 賢治 国保係長 大濱 史久 特定健診係長 岡崎さゆり
会議次第	1 開会 2 部長あいさつ 3 会議成立報告 4 議題 ①平成 27 年度国民健康保険特別会計補正予算について ②平成 28 年度国民健康保険特別会計当初予算について ③国民健康保険条例の一部改正について ④国民健康保険データヘルス計画の策定について ⑤その他 (がん検診自己負担金の改定について (報告)) 5 閉会

議 事 内 容	
事務局	<p>●議事①平成 27 年度国民健康保険特別会計補正予算について</p> <p><資料 1-1、1-2 を用い説明></p> <p><質疑なし></p> <p style="text-align: center;"><議題①、全員挙手により承認></p>

●議事②平成 28 年度国民健康特別会計当初予算について	
事務局	<資料 2-1、2-2、3-1、3-2 を用い説明>
委員	基金とはどういうときに使うもので、残高はいくらか。
事務局	医療費急増への対応や、保険料の急激な増加の抑制のために積み立てているものである。残高については、資料 3 のとおり、平成 28 年度当初予算での積み立て及び取り崩しを実施して、5 億 9, 500 万 5, 460 円の見込みとなっている。
委員	平成 30 年度に国民健康保険が県規模で広域化される際、市町が持っている基金は県にプールされることになるのか。
事務局	現時点では、基金はそれぞれの市町で持つておくことになっている。
<議題②、全員挙手により承認>	
●議事③国民健康保険条例の一部改正について	
事務局	<資料 4、5、6 を用い説明>
委員	賦課限度額の増額改定により影響があるのは何件ぐらいか。
事務局	平成 27 年度の当初賦課時の状態を用いて試算すると、基礎分で 152 件、後期高齢者支援金分で 147 件、金額では計 540 万円の増額になる。
<議案③、全員挙手により承認>	
●議事④国民健康保険データヘルス計画の策定について	
事務局	<資料 7 を用い説明>
委員	疾病別の医療費の多寡を示すグラフについて、入院は主病を比較的簡単に特定できると思うが、外来についてはどのように判断したのか。
事務局	そこが国保データベースシステムの限界でもあるが、レセプトの中で一番点数のかかっているものを最大医療資源と称し、主病として扱うことによ

	<p>ってデータ分析を行っている。傾向を見るためのものと考えていただきたい。</p> <p style="text-align: center;">＜議案④、全員挙手により承認＞</p>
事務局	<p>他にも、本計画に御意見があれば、2月25日までに国保年金課に寄せられたい。</p>
	<p>●議事⑤その他</p>
会長	<p>その他事務局から何か。</p>
事務局	<p>＜がん検診自己負担金の改定について、資料8を用い説明＞</p>
会長	<p>他に何か。</p>
委員	<p>薬剤師会でできるだけジェネリック医薬品への転換を進めようとして取り組んでいるところ、一部負担金のある人はかなり協力してくれるが、カク福対象者は自己負担金がないので、ほとんどが先発品と言われる。何とかできないだろうか。</p>
委員	<p>生活保護受給者についてはある程度強制的にジェネリックへの転換を進めているのではないか。</p>
事務局	<p>生活保護受給者については、極力ジェネリック薬品を使うように国から指示が出ている。カク福対象者についても啓発を考えていきたい。</p>
事務局	<p>データヘルス計画については基本的に毎年更新を考えている。実施している事業についても検証が必要と考えている。このような事業も行った方がいいという御意見があればお寄せいただきたい。</p> <p style="text-align: center;">＜閉会＞</p>